

最近は「やりたいことをやらせたい」と子どもに進路の選択権を簡単に与える親と、命や生き方といふ人生的根本について話すと涙を流してしまう子が多い。

「夢を諦めないで」と子どもにメールを送る大人は多い。私も、夢を抱き努力を積む若者には、「諦めないで頑張ってほしいと願う。しかし、「諦めてはいけない」という言葉だけが頭に残り、できな課題を前に、ボーッと眺めてばかりの子も多く見てきた。

私見創見 Thursday

幼い頃から、やるべきことを教え、「諦めて、気持ちの切り替え」のできる子どもに育てないと、進路選択の正念場で判断や選択の基本知識が乏しく、術を持たぬまま「行きたい学校」を諦められないで立ち尽くしてしまう。

安心、安全、便利で豊かな生活の中で、さまざまな選択肢に囲まれ、自由に選択できることを喜ぶのは、それだけで人の心を満足させ、劣化させる。定する3者面談が行われているべきことが分かっていて。「ゆとり教育世代」はこ

諦め、切り替えられる子に

の時期になつても志望校を決められず、諦め切りが来ても志望校を諦められない子が少くない。

塾でも連日、「行きたい学校は?」「将来の夢は?」と聞かれてばかりの子が多く見てきた。

学校」なのか、見解を聞いたり決まっていません」と。

「大学進学ならB高はダメなのか?」と考えさせた。本

校は? 将来の夢は?」と聞かれて返答に困った。そこで親

の答えを確認すると、「子ど

もや

められず、諦め切りが来ても志望校を諦められない子が少くない。

先日は、まず本人に「志望

の夢は?」と聞かれて

いた。「A高校です。大学進

校は? 将来の夢は?」と聞かれて

いた。でも将来はま

たよ」とうれしそうに母親に

報告する。子が何かを諦め

て切り替えて「諦める!」と言

う。間髪入れず「偉いね

も、面倒やおひごうがやる気

約束を守る子育て
畠 畠 畠 学塾塾長



はたやま・あつし
1960年、八戸市生まれ。明治学院大卒。志学塾を運営しながら、全国各地で講演。「勉強部活」を提唱、放課後学習支援などに関与する。全国学習塾協会理事。

私は、高校卒業後は就職か進学か、大学を出たら大学院に進むか働くか、と丁寧にや

り取りしながら整理していく。30分が過ぎた頃、小さな声で「理学療法士...」と返ってきた。

私は、それはいいね。専門知識してもらう努力を改めて求めたということがわかる

う。

私は、高校卒業後は就職か進学か、大学を出たら大学院に進むか働くか、と丁寧にや

り取りながら整理していく。30分が過ぎた頃、小さな声で「理学療法士...」と返ってきた。

私は、それはいいね。専門知識してもらう努力を改めて求めたということがわかる